

2017 年 1 月 1 日～2027 年 9 月 30 日の間に 肺癌の病理診断を受けられた方へ

—「特殊な増殖形態を示す肺癌の意義に関する臨床病理学的検討」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学病理学	講師	松野 岳志
研究分担者	川崎医科大学病理学	講師	西村 広健
	川崎医科大学病理学	教授	塩見 達志
	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	最相 晋輔
	川崎医科大学呼吸器内科学	講師	黒瀬 浩史

1. 研究の概要

肺癌では、特殊な病理組織像が観察されることがあり、その病理組織像の種類によって、癌の悪性度や原因となるドライバー遺伝子等が異なる場合があります。その病理組織像の意義や特徴、臨床的な意味合い等を調べるために研究を行います。そして、今後の診断・治療に役立てることを目標としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017 年 1 月 1 日～2027 年 9 月 30 日の間に川崎医科大学附属病院において肺癌の病理診断を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間において、川崎医科大学附属病院において肺癌の病理診断を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに、肺癌のデータを選び、診断時に取得した残余検体（パラフィンブロック）を用いて、免疫染色に関する分析を行います。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、臨床所見、検査所見、病理所見 等

試料：採取された組織（パラフィンブロック、ガラス標本）

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学病理学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存

し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2027年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 病理学

氏名：松野 岳志

電話：086-462-1111 内線 44212（平日：8時30分～16時30分）

E-mail:matsunot@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。